

岐阜県代協ニユ

2024.11
vol.356



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

会長挨拶

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

えんどう よしかつ

会長 遠藤 昌克

今年もあと1か月余りとなりました。11月後半に入り、例年並みに寒くなってきましたが、11月前半は20度以上の日が続きました。全国で毎日の最高気温が平年を上回る日が365日のうち70%以上のところがほとんどで、今年の暑さは異常でした。そんな暑さの影響なのか、11月もたくさん台風が発生し、11月7日前後には与論島はじめ沖縄地方で大雨となり大きな被害が発生しました。被害にあわれました方々には心からお見舞い申し上げるとともに早い復興を祈念申し上げます。



南の島々が台風の襲来を受けた一方、同じ11月7日に「木枯らし1号」の発表がありました。10月の半ばから11月末までの初冬の間初めて最大風速毎秒8m以上の北寄りの風が吹いたことをいうようですが、東京地方と近畿地方で吹いた時の発表であり、東海地方は圏外とのことを初めて知りました。でもその日は、東海地方も寒くて冷たい強い風が吹いていて「立冬に冬が来た」まさに「冬の始まり」と季節の移り変わりを感じましたが、私は冬の寒さは苦手なため、「春一番」の報告のほうが嬉しいです。

さて、代協活動ですが、10月27日に長良川の清掃活動を行いました。前回の花火大会後に比べてごみの量はかなり少なかったですが、早朝よりご参加いただきました会員の皆様お疲れ様でした。

11月15日、16日には第13回日本代協コンベンションが行われ、岐阜県代協からは7名参加しました。初日は功労者表彰等の式典、基調講演、パネルディスカッションがあり、東海ブロックでの功労者表彰は三重県代協所属の中島治彦氏でした。おめでとうございます。続く基調講演では左官業という高齢化された業界の中で、建築業界の女性を含め若い職人育成で業界から注目されたという有限会社原田左官工業所代表取締役社長 原田 宗亮 氏の話はとても参考になりました。第2部の懇親会には各保険会社のトップをはじめ関係者が多数参加され、北陸ブロックのご当地名産・銘酒も紹介され、大変盛り上がりました。翌16日は、4つの分科会が開催され、私は「損保問題の本質と保険会社経営の今後を探る」として上村 信保氏のセミナーを受講いたしました。詳細は来月号か挨拶の場にて報告いたしますが、一番感じたことは保険会社はいまだにトップダウンであること、これがボトムアップにならないと今後も保険会社の体質は変わらないと思いますし、本気で保険会社の役員が変わらないといつまでたっても変わらないと思いました。

20日の13:00より消費者団体情報交換会、同日夕方18:00には提携業者交流会が開催されました。詳細につきましてはおって各委員会より報告があるかと思えます。また、いよいよコンサルティングコース受講者募集が始まります。そして会員募集も3名となり、あと4名です。組織委員会の皆様を中心にお声をかけていただき、もうひと踏ん張りです。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

私事ですが、コンベンション参加後足を延ばし、小江戸、川越に行ってきました。東京での移動はほとんど電車ですが、駅と駅の移動など毎日7～8キロ歩きました。東京にいと健康になるかもしれません。今年は秋を感じることもなく冬になりそうです。コートの出番となり、これから寒い季節となります。どうか皆様ご自愛ください。

最後に岐阜県からBCPセミナー・ブラッシュアップセミナーのご案内を同封させていただきます。スケジュールがずいぶん終わっていますが、1月、2月開催予定があるため参考にしていただければと思います。

1 p	・ 会長挨拶／目次
2 p	・ スケジュール／事務局より
3 p	・ 日本代協コンベンション報告／支部報告①
4 p	・ 支部報告②
5 p	・ 中さんの保険諸国慢遊記 (222) ①
6 p	・ 保険ジャーナリスト ②
7 p	・ 中崎章夫 ③
8 p	・ 『街道シリーズ』(郡上街道 26) 松尾 一

9 p	・ 会員投稿
10 p	・ 会員投稿 2
11 p	・ 提携事業者広告掲載①
12 p	・ 提携事業者広告掲載②
13 p	・ 提携事業者広告掲載③
14 p	・ 提携事業者広告掲載④
15 p	・ 委員会報告／編集後記

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
11	5	火	教育	委員会(13:00～)	県代協事務局
	6	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	12	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	14	木	飛騨	例会(11:30～)	魚祭
	15 16	金 土	日本代協	日本代協コンベンション開催(13:00～)	グランドニッコー東京 台場 損保会館
	20	水	CSR	消費者団体情報交換会(13:30～)	OKB ふれあい会館 407 会議室
	20	水	企画環境	委員会(16:30～)	グランヴェール岐山
	20	水	企画環境	提携事業者交流会(18:00～)	グランヴェール岐山
	29	金	東濃	例会、研修会、懇親会(16:00～)	クアリゾート湯舟沢
	29	金	飛騨	役員忘年会(18:00～)	松喜すし
12	4	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	5	木	県代協	理事会(13:30～)	長良川スポーツプラザ
	5	木	西濃	西濃支部弁護士セミナー(17:00～)	クインテッサホテル
	6	金	岐阜	合同ブロック会忘年会(18:00～)	ワシントンホテルプラザ 11 階 スカイラウンジ
	10	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	12	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	12	木	飛騨	例会(11:30～)	未定
1	23	木	県代協	賀詞交歓会	グランヴェール岐山
2	7	金	飛騨	新年会(18:00～)	グリーンホテル

～事務局より～



★2024年12月23日(月)に2024年度第Ⅲ期の会費を、ご指定口座より振り替えさせていただきます。
政治連盟にご加入の会員の方は、併せて振り替えさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。
(ご不明な点は、県代協事務局までお尋ね下さい。)

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050

FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gdaikyo@opal.ocn.ne.jp

(担当 : 小川百合子)

第 13 回 日本代協コンベンション報告

第13回日本代協コンベンションが、11月15日(金)、翌日11月16日(土)、グランドニッコー東京台場、および損保会館、ソラシティカンファレンスセンター御茶ノ水にて、本年度も業界関係者を含めた情報交換と経験交流を目的とし開催されました。岐阜県代協より7名（遠藤 昌克、森 信彦、太田 祐司、大野 貴敏、植田 雄介、水野 智久、馬場 浩之 敬称略）ご参加いただきました。皆様の参加報告は12月号にてご紹介させていただきます。

《主な内容》

第1部：式典（功労者表彰）

基調講演 ■テーマ 『なぜ左官屋で若者と女性が活躍できるのか
～業界の常識を変える働き方改革の実践～』

■講師 原田 宗亮 様
(有限会社原田左官工業所 代表取締役社長)

パネルディスカッション

■テーマ 『シン代理店価値～これからの代理店が目指す道～』

■パネラー 株式会社ライフステージ 代表取締役 永野 勤一 様（三重県代協会員）
株式会社リーズ 代表取締役社長 長岡 誠治 様（東京代協会員）

■コーディネーター 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 理事 石川 英幸

第2部：懇親会の部

第3部：分科会の部 11月16日（土）
10時～12時



支部活動報告

【岐阜支部 11月活動報告】

○岐阜支部 10月役員会報告

開催日時：2024年10月21日（月）12:00～

開催場所：ひしの寿司

報告者名：松野 亘充

【西濃支部 11月活動報告】

○西濃支部 11月例会報告

開催日時：2024年11月 6日（水）11:30～

参加者数：18名

開催場所：大垣「五右衛門」

報告者名：中河 美智彦

《議題》

① 連絡事項

- ・提携事業者案内 ファブリカコミュニケーションズより、J ネットレンタカーより
- ・賛助会員案内 メットライフ生命保険より
- ・12/5 (木) 17:00～ 西濃支部弁護士セミナー開催
- ・11/15～16 日本代協コンベンション開催・(株)MSG保険サービス 大野さん参加
- ・11/20 (水) 18:00～ 提携事業者交流会開催

② 委員会報告

- ・教育・・・「出前講座」研修会開催・・・(大垣市立江並中学校にて開催予定)
- ・広報・・・代協ニュース代理店紹介 次回2月掲載店協力をお願い
- ・CSR・・・11/20 消費者団体情報交換会開催
- ・組織・・・会員増強協力をお願い

③ 県代協より・・・12/5 理事会開催 長良川スポーツプラザにて

・・・2025年1/23 (木) 賀詞交歓会開催 グランヴェール岐山にて

④ その他・・・提携事業者、賛助会員の例会参加費について

※次回例会 2024年12月 4日 (水) 11:30～ 大垣「五右衛門」にて

【中濃支部11月活動報告】

○中濃支部11月例会報告

開催日時 : 2024年11月12日 (火) 10:30～ 開催場所 : 太田交流センター
参加者数 : 10名 報告者名 : 田中 大意

《議題》

- ・賛助会員案内 メットライフ生命保険より

① 委員会報告

CSR・・・自賠責無保険追放キャンペーン、ティッシュ配布打ち合わせ

② その他情報交換

※次回例会 2024年12月10日 (火) 10:30～ 太田交流センターにて

【東濃支部11月活動報告】

○東濃支部11月例会、研修会、懇親会開催について

開催日時 : 2024年11月29日 (金) 16:00～開催場所 : クアリゾート湯舟沢
報告者名 : 水野 智久

開催日の都合により12月号にて報告

※次回例会 2024年12月12日 (木) 11:30～ みわ屋にて

【飛騨支部11月活動報告】

○飛騨支部11月例会報告

開催日時 : 2024年11月14日 (木) 11:30～

開催場所 : 魚祭

参加者数 : 7名

報告者名 : 熊木 千夏

《議題》

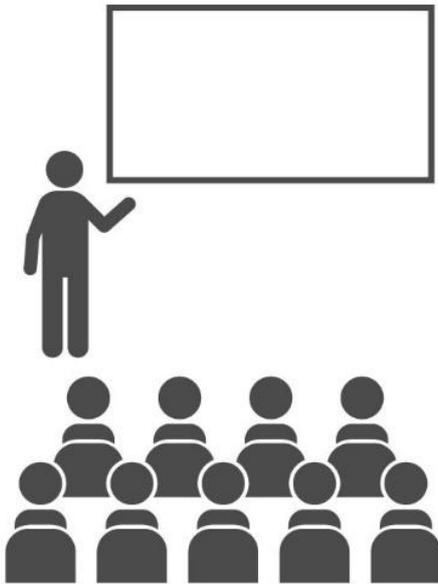
- ・各委員会報告
- ・日本代協コンベンション参加について
- ・ぼうさい探検隊の参加報告
- ・役員忘年会について (11月29日(金))18:00～松喜すしにて
- ・飛騨支部新年会について (2月7日(金))18:00～グリーンホテルにて
- ・その他情報交換

※次回例会 2024年12月12日(木) 11:30～ 場所未定



「シン・保険サービス」、「シン・代理店の価値」

ー デジタル技術革新踏まえ新たな発想の転換が求められる保険ビジネス



◇日本代協コンベンション、テーマは「シン・代理店価値」

第13回日本代協コンベンションが全国47都道府県400名の会員や来賓の参加で二日間にわたり開催され、全体を通じ代理店価値の気づきを得られる場の創造をという意気込みと手作り感あふれる今回のコンベンションプロジェクトチームの運営ぶりが光るものとなった。

11月15日の式典、基調講演とパネルディスカッションはグランドニッコー東京台場、16日の4つの分科会は損保会館、近隣会場（ソラシティカンファレンスセンターお茶の水）の会場。

「シン・代理店価値～これからの代理店が目指す道～」をテーマにしたものだ。「シン」とあえてカタカナ表記したのは、新／真／神／深など、今までとは全く違う考え方、原点回帰、「人×デジタル」の新たな体験価値創出、など多様なとらえ方をしてもらうためにつけたもので、既成概念にとらわれずに、代理店価値を、アップデートし代理店自身が自分たちで主体的・創造的に発展させようという意味合いが込められている。

◇若者や女性が働きやすい働く職場環境とは？

初日の式典後の基調講演は、「なぜ左官屋で若者や女性が活躍できるのか～業界の常識を変える働き方改革の実践」を原田宗亮氏（原田左官工業所）が動画を取り入れた新人教育などの独自の左官職人育成プログラムの開発や女性職人のための働きやすい職場環境づくりなど、業界は違えども、職人文化の伝承に新たな活路を切り開く斬新な取り組みは、同様に人材確保や新たな活路開拓の困難に直面している代理店業界にも大きなヒントをもたらすものだった。

また「シン・代理店価値～これからの代理店が目指す道～」というテーマで、パネルディスカッションがもたれ、これには、ファシリテーター石川英幸日本代協理事のもとで、リスクマネジメントの観点から全国の介護福祉施設の抱える課題解決を進め新たな市場開拓を推進するライフステージの永野勤一氏、健康経営の推進と若手スタッフの活力を生かす職場改革を進めるリーズの長岡誠治氏という特色ある経営を展開する2代理店の話は、示唆に富む内容のものだった。

◇懇親会では北陸ブロックの銘酒・名産品コーナーも

夜の懇親会では各損保のトップが壇上に上がり紹介されたり、北陸ブロック（福井、石川、富山）の名酒・名産品の紹介と試飲・試食コーナーが設けられた。能登半島地震酒造復興応援酒の能登大慶×天狗舞（地震で全壊した珠洲市の櫻田酒造と、それを応援する石川県白山市の天狗舞の車多酒造のコラボ酒）をはじめ、福井の黒龍や梵、富山の立山等の銘酒や羽二重餅、カニカマ、白エビ煎餅などの名産品を味わうことができたが、あっという間に。また恐竜の着ぐるみ等の登場もあった。



◇4つの分科会

分科会は2日目の午前10時から2時間にわたり、4会場に分かれ『損保問題』の本質と保険会社経営の今後(植村信保福岡大商学部教授)、「環境認識を踏まえた『次世代代理店像とマーケット開拓』(中島達朗ふるサポ、SDGsコンサルタント)、「すべての問題は解決できる」(今徳良、RiMiX、サイバー保険特化型代理店)、「どうなるホケンの現在と未来—2024プロ代理店の直面する課題と展望」(中崎章夫、保険ジャーナリスト)がそれぞれ講師を務めた。

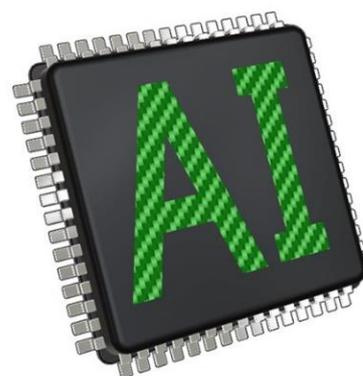
◇保険業界で活発化する非保険領域への進出

保険業界では、シン・ホケンともいえる動きが活発である。すなわち。これまでの保険は万一の補償・保障を中心にしてきたが、これからは、保険の定義を変えていこう、あるいは非保険領域に踏み出していこう、ということを中心に動き出しつつある。

その背景にはいくつかの要因がある。ひとつは、外部環境の構造的変化だ。少子・高齢化による市場縮小と温暖化等による災害発生の激甚化による保険事業の収益確保が困難になっていることから、新たな活路開拓、業態転換が求められ、サービス手数料ビジネス分野への進出が求められていることで、もう一つが、保険事業で培ってきた膨大なデータ群の活用とDXと言われるデジタル技術の驚異的進化により新たなデータサービス産業化への道が切り開かれつつあることだ。昨今の生成AIの進展ぶりはそれを象徴しているかのようで、社会的・全産業的規模でビジネスの在り方を変えつつあるが、保険とて例外ではない。

◇驚異的に進化するデジタル技術

この変革を支えているのがデジタル技術の進化で、例えば自動車のセンサーやドラレコ、スマートハウスなどをはじめ、スマホアプリによる歩数計測、スマートウォッチなど身体装着のウェアラブル端末活用による健康データ収集、生成AIなどを活用したアドバイスの提供など、テクノロジーの活用により、「防災」「予防」、「健康増進」をモニタリングサービスとして、日常的にアドバイス・サポートすることが可能になったことで、生活周り・仕事周りの安全管理や、運動メニューや食事メニューを含めた健康管理・健康増進などへの活用も出来るようになってきている。



◇GLTDと健康管理サービスの組み合わせ

健康増進、ウェルビーイング(良く生きること)への取り組みが保険業界で活発化している。

こうした取り組みの一環として、RIZAP(ライザップ)の健康管理サービスを組み合わせた企業向け保険があらたにスタートする。損保ジャパンとRIZAPが、損保ジャパンが提供するGLTD(団体長期障害所得補償保険)の被保険者を対象として、RIZAPの「なりたい自分になるためのカラダづくり体験サービス」を新設し、2024年12月2日から提供を開始するものだ。法人向けの、従業員がけがや病気で働けないときに長期にわたって所得を補償するGLTD(団体長期障害所得補償保険)に組み合わせ、RIZAP専属トレーナーが従業員の健康管理をアドバイスし、就業不能になるリスクを下げるのが狙いだ。

すでにSOMPOホールディングスとRIZAPグループは、両社が掲げる「誰もがウェルビーイングを実感できる社会の実現」に向けた資本業務提携契約を2024年6月7日に締結している。SOMPOホールディングスは保険・介護事業等を通じて培った強固な顧客基盤・販売網を有し、安心・安全・健康に資する保険商品やサービスをグループで提供している。また、RIZAPグループは健康増進ソリューションを強みにフィットネスや医療連携サービスを提供している。

今回の体験サービスの追加を通じて日常の健康維持を促すとともに、万が一の際はGLTDで補償を提供することで、就業不能リスクに対し一気通貫の支援を行う。

◇なりたい自分になるためのカラダづくり体験サービス

「なりたい自分になるためのカラダづくり体験サービス」は、GLTDの被保険者を対象として、RIZAPグループがSOMPOオリジナルプランとして「食事・運動アドバイス+パーソナルトレーニング体験」(全国のRIZAP店舗で対面、または自宅などオンラインでのサービス利用が可能)を無料で提供するものだ。

サービス利用者は、食事や体に関する悩みについてのカウンセリング、悩みに合わせたパーソナルトレーニングを体験できる。トレーニングの効果を実感することで、効率のよい運動方法の理解を深めることができる。このサービスを通じて、顧客のなりたい姿や健康的な日々をおくるための目標に向けた生活リズムの改善、運動習慣の定着を促す。

今後も損保ジャパンの各種保険やサービスに、RIZAPグループが有する健康支援・行動変容につながるプログラムを掛け合わせた新商品および新サービスの研究開発を予定している、とするとともに、顧客の安心・安全だけでなく、健康・ウェルビーイングにもつながる価値を提供する「つなぐ・つながる」損保会社への進化を目指し、「誰もがウェルビーイングを実感できる社会の実現」に貢献していく、としている。



◇「事後の補償」から「事故の未然防止や予防・健康増進」

これからの保険事業の展開は、データサービス産業化への道を進み始めており、まさに旧来の保険の発想からは考えられないような新たな定義づけが必要になる。日々様々な活動データを分析することで、より効果的な安全管理法や予防法や健康増進プログラムの開発が可能になることは間違いない。個人情報保護には最大限の配慮が必要となるが、ビッグデータの活用による価値創造の可能性は、保険業界にも顧客にも大きなメリットをもたらす。

その一方で、デジタルに不慣れた層も一定程度存在し、こうした方々への対応も含めてサービスを持続的に普及させていくことも課題となる。

安全運転などへのモニタリングサービスの高度化や健康活動をした個人の健康増進が、事故の防止による損害率改善や医療費抑制という形で社会全体に還元されることも期待されるどころだ。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)



『街道シリーズ』（郡上街道その 26）

松尾 一

油坂峠から、夢のかけ橋へ

油坂峠から福井城下に至る街道は、美濃から見ると越前の福井城下に向かうので越前街道といい、福井城下からみると美濃境の油坂峠に向かうので美濃街道とっていました。

この美濃街道は、美濃に向かう街道の総称でもあります。福井城下から説明しますと、メインは、福井城下からおおむね JR 越美北線（九頭竜線）ぞいに進み、大野城下（大野市）から九頭竜湖を進み、油坂峠にいたるルートで、今回はこのルートを訪ねます。



そのほかにも、冠山峠や温見峠、そしてその東にある綿帽子峠、さらに九頭竜湖に注ぐ、荷暮川の上流にある仏峠から美濃に入るルートも美濃街道とも呼ばれていました。

江戸時代、越前各地には郡上藩の領地や、金森氏の分家旗本金森左京家の領地もあり、越前と美濃は深い関係があります。

さて、美濃（越前）街道は越前（大野市）に入り油坂峠を後にします。このあたりは平成 17 年までは大野郡和泉村で、江戸時代は福井藩領、大野藩領を経て郡上藩領となっていました。

油坂峠を下ると、かつて「ごせきのや」という一軒家があり、ここに木戸（番所）があったという伝説があります。また、九頭竜湖の東隅に至るまでも福井藩結城氏が設置したという木戸があったといえます。

ここからしばらくの間、美濃（越前）街道は、九頭竜ダムによってできた九頭竜湖によって多くの集落と同様に水没しています。しかたがありませんので現在の道路沿いに訪ねます。

九頭竜湖の北岸（右岸）を進むと九頭竜湖に注ぐ林谷に架かる林谷橋に着きます。このあたりは通称「留」といったといい、このあたりにも木戸があったといえます。

美濃（越前）街道は、まもなく九頭竜湖に架かる、通称夢のかけ橋という大きな吊り橋、箱ヶ瀬橋に着きますが、ここで寄り道をします。

この橋を渡り九頭竜湖に注ぐ荷暮川沿いに上り、かなり進むとある美濃（岐阜県郡上市大和町内ヶ谷）境にある仏峠は、ここから八幡（郡上市）や板取（関市）方面に抜けたといえます。かつて油坂峠が大雪や崖崩れで通れない時には、この仏峠を使ったといい、美濃と越前を結ぶ大切な街道だったのに違いありません。しかし、現在、仏峠一带は交通困難となっています。

そういえば、高山以北、越中に向かう飛騨街道も西、東そして中と 3 ルートありましたね。

（まつお・いち）ライフワークは民俗、地域史（近世交通史）
著書は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『みのひだ雑学』（岐阜新聞社）など多数

会員投稿記事

『カスタマーハラスメントについて』

「カスタマーハラスメント」とは、顧客や消費者からの度を越えた、または悪質なクレーム・要求のことです。略称で「カスハラ」と呼ばれることもあります。

カスタマーハラスメントと混同されるものに、「クレーム」があります。カスタマーハラスメントとクレームを同じものとしてとらえる方も多いですが、このふたつはまったく違うものです。

クレームは商品の向上・改善を目的とします。商品やサービスに対する『要求』や、『依頼』の形をとって伝えられる行為です。クレームは商品やサービスをよりよいものにするために役立つ意見であり、正しく対処すれば顧客と企業の両方にメリットをもたらします。

一方、カスタマーハラスメントは『嫌がらせ』を目的としています。カスタマーハラスメントには種類がありますが、どれも理不尽な嫌がらせや悪質ないじめです。ですから、カスタマーハラスメントの場合には、要求を通せば通すほど悪化するため、適切な対処が求められるのです。

このように、カスタマーハラスメントとクレームはまったく違うものです。一見区別がつかないように感じる言動でも、これらの違いを押さえておけば判断できるかと思います。クレームは正しく受け止め、カスタマーハラスメントは被害を最小限に抑える処理を心がけましょう。

(東濃支部 安江 努)



会員投稿記事 2

『秋の勲章』

年に2回、ニュースでは各界で功労のあった方々が「勲章」を受章されています。この秋は11月3日に発表されました。家でテレビを見ながら家族に「毎年たくさんの方が受章されているけど、ウチの周りにはこんな立派な人はいないねえ。(笑)」などと話をしていました。ちょっと気になりましたので、勲章というものを調べてみました。

Wikipediaでは・・・

旭日章 「社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与する」とし、内閣総理大臣などの職にあつて顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与される。となっていました。

もう一つ、**瑞宝章** 「国及び地方公共団体の公務」または「公共的な業務」に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与される。となっていました。ちょっと難しいですが、世の中に貢献した方々が受章されるものというのがわかりました。その中でも大綬章 重光章 中綬章 小綬章 双光章 単光章と6つに分かれており、功労、功績によって決まるようです。

令和6年 秋の叙勲は3987名の方々が受章されたとのこと。年に2回の受章なので、知り合いの一人でもいないかと思っていたところ、大変誇らしいニュースが舞い込んできました。

岐阜県損害保険代理業協会 **森 信彦 専務理事**が、水防功労による**瑞宝単光章**を受章されました。36年間、地元の水防団に所属され、そのうち11年間は団長として活躍された功労を認められ受章されたとのこと。11月14日 東京プリンスホテル 2階「鳳凰の間」にて勲章伝達式が行われ、その後天皇陛下に拝謁しお言葉を頂戴したとの事。代協でも会員のために八面六臂の大活躍をされ、地元でも36年にわたる大活躍。見習うことばかりです。このような素晴らしい出来事を、皆さんとも共有したく、今回の会員投稿としました。

改めまして、森専務理事、おめでとうございます!(^_^)ㄥ※PAN!。.:*.:° ☆。.:*.:° ★° '.:*.\(^O^)/

(岐阜支部 高橋 励)



ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6

電話：058-274-0110

URL：http://www.nihonguard.co.jp

e-mail：eigyounihonguard.co.jp

ダメージカー（事故車・中古車）のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712
愛知県名古屋市東区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU
www.tau.co.jp

- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／ブリスベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合
JAGU認定
国土交通省支援試験 一級取得
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175(代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

**機
動
力**

**24時間365日
迅速フル対応**

いつでも、
どこへでも、
トラブル現場へ。



岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
本荘営業所 岐阜市敷島町9丁目1-1
岐阜羽島営業所 羽島郡笠松町門間750
岐阜北営業所 岐阜市津島町3丁目57



至急 GO! レスキュー

事故・故障・レンタカーのご用命は



0120-495-039

有限会社 **イブカ**

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
TEL:058-388-5678 FAX:058-388-5679

窓を変えて
暮らしを変える。

☎503-0854

岐阜県大垣市築捨町5丁目121-1

✉tabata@t3ha.com

HP: <https://www.igokochi.biz/>

窓まわりのガラス、雨戸、シャッター、
玄関ドア・引戸、勝手口、鍵 などなど
被害に遭われた方に寄り添った対応を
心掛けています！



0120-310-819

お電話でも受付中！

—お電話受付時間—
平日8:30~17:30
休業日/土日祝

お気軽にお問い合わせください♪

損害保険に係わる修繕工事を全て対応致します

- 民間 初動対応 → 被害者打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了報告
- 公共物 初動対応 → 役所打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了届返却後完了報告
場合により各書類提出

上記、一連を同じ担当者で施工対応致します！



お客様あつての 損害保険と理解しております!!

保険の価値が最も求められるのが事故が起きた時!
代理店様からの要請により、迅速な対応・仮復旧・清掃・
早期の現状復旧を目指し、事故に遭われたお客様、
契約者様共にご納得・ご満足頂ける対応を行うことが
ご依頼を頂きました代理店様への恩返しになると丁寧に
対応致します。
●保険修繕業務において10年以上の経験・実務を培ってきております。
事故発生時には是非ご用命下さい

24時間365日対応

総合建設業 Houei sougyou
芳永 総業
岐阜県知事許可 第103860号

岐阜県羽島市堀津町横手3丁目37-2
TEL:058-398-2282
渡邊:090-5869-9590

創業76年1000棟以上の実績
大切なあなたのお住まいを守ります



七宗の健康住宅

〒長尾建設株式会社・カネジュー設計事務所



〒509-0511
岐阜県加茂郡七宗町神淵1793-1
☎ 0574-46-1321

地元寄り添う外構店です

株式会社 Hamaken エクステリア

代表取締役 浜田 智

所在地 岐阜県多治見市旭ヶ丘5丁目2-8

URL <https://www.hamaken8008.co.jp>

所有資格 建設業許可(般-2)第500929号

FAX 0572-26-9633



お問合せはLINEに頂きますと
スムーズに対応させていただきます。

公式LINE
アカウント

当社の強み

業歴
約25年以上

お客様のご要望を
ヒアリングし、
職人目線で考えた
+αのご提案

年間施工数
100件以上

多くのお客様に
満足していただくため、品質維持、
柔軟な対応力と安心の技術を
活かしていきます

安心の
自社施工

お問合せから現地調査、
打ち合わせ、施工、
アフターフォローまで
を一貫して対応

施工大切にしていること

丁寧にヒアリングし、お客様の想いを知り、
予算に合わせた満足のご提案を。

5年後、10年後も美しい状態を維持できる、
一歩先を考えた利便性の高い空間を。

美観性・機能性のどちらにも兼ね揃えた
外観工事を大切にしています。

自社施工店

一貫して全ての工程を担当



施工費用
のみ

委員会報告

【CSR委員会】

○「川と海のクリーン大作戦」参加報告

日時：2024年10月27日（日） 6:30～
場所：長良橋西側・右岸河川敷 インラインスケート場
参加者数：5名

《内容》

長良川を美しくしよう運動、毎年参加の長良川清掃は、今年は岐阜新聞から岐阜市の主催に変わりました。

自治会連合会、岐阜市水防団、木曾川上流河川事務所等の方々も参加されました。

他団体が前週に、清掃をしたおかげでゴミが少なく、人も少なかったようです。

早朝からご参加いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(CSR委員長 磯谷 宏)



編集後記

皆さんは生落花生（なまらっかせい）を食べたことはありますか？多くの方が口にされるのは煎ったもの（いわゆるピーナッツ）でポリポリと酒のつまみにされていると思いますが、この時期になると煎る前の落花生が売りに出されています。地方の道の駅などで手に入れることもできますが、この落花生を塩ゆでにして召し上がっていただくとホクホクで旨味たっぷりの何とも言えない味わいを楽しむことができます。是非お試しあれ。

(西濃支部 河村 拓也)

発行日／2024年11月25日

責任者／遠藤 昌克 発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

馬場 浩之、高橋 励、熊木 千夏、後藤 哲裕、河村 拓也、山谷 庸二、安江 努、
遠藤 昌克、森 信彦